

# 東京支部公募研究事業



## 特徴

- 成果報告に対して**表彰楯を授与** (デザインが好評です)
- 成果報告や論文化に期日を設定しているため、計画的に作業を進めるモチベーションにつながります※.
- 期日までの論文化を達成した場合、**副賞10万円**が授与されます!!

※実績：採択6研究のうち、2023.10時点で**3研究**が  
**論文化**されています

## 特徴

- 応募分野が専門の学術委員が論文化をサポートします.
- 大会で使用したスライドをエントリーするので簡便です.
- 論文化は必須ではなくアドバイスを聞くだけでも構いません.
- 論文化達成の場合は**英文校正費用を全額補助**します

※和文誌への投稿の場合費用の援助はありません

# Research Awardの仕組みについて

- 応募期間：2月1日～4月1日
  - 採択通知：4月中旬
  - 成果報告（**義務**）：東京支部春期学術大会の公募研究セッションにて研究成果の報告を行う。  
同時にResearch Award表彰楯の授与式を行う　：5月中旬
  - 初回論文投稿（**任意**）：日本放射線技術学会誌（和文誌）へ**半年以内**：11月中旬まで  
もしくはRPT誌（英文誌）へ**1年以内**：翌年の5月中旬まで
  - 論文受理：上記2誌（日本放射線技術学会誌, RPT誌）への投稿を推奨していますが、  
最終的な投稿先は別の雑誌でもかまいません。論文が受理されたことを支部HPで紹介します。
- ※採択から成果報告までの期間が短いため、  
応募時点で完成度の高い研究である必要があります。
- この条件を満たせば  
**副賞10万円**を授与
- ※副賞は研究を「論文の形」にするという最初の難関を超えるための発奮材料として企画しています。  
論文の採否に関わらず、初回投稿を完了すれば授与します。  
ただし、初回投稿の内容は、査読者に敬意を払い学術論文としてふさわしい内容としてください。

# Research Award研究支援事例



- 公募研究セッションでの質疑応答

→学術委員会が選出した座長を中心に論文化にむけた充実したディスカッションが展開されるため、論文執筆の際に役立ちます。



- 学術委員会のネットワークの利用

→支部役員のメーリングリストや、班員が所属している学会のメールマガジンを活用した研究支援が可能です。例えば、アンケート調査の回答数増加などが期待できます。

- 表彰楯の授与

→成果報告の発表が終了した時点で、研究題目・研究者名が刻字された表彰楯を授与しています。論文化に向けて心が折れそうな時に眺めましょう！きっと頑張れるはずです！



# Publication Support for Research Awardの仕組みについて

● 応募期間：東京支部春期学術大会終了翌月に公募開始

※春期大会で一般研究発表を行った演題のみ応募資格があります

● 採択通知：7月中旬

● 論文化のサポート：

応募分野を専門とする学術委員から春期大会で使用したスライドをベースに論文化のためのアドバイスをを行います

- 研究発表を論文につなげるためにどのような事が必要か？アドバイスを聞くだけでも構いません。
- 新規性のアピール, 先行研究との比較方法, 研究デザインの改善点, データのまとめ方, 考察のブラッシュアップ…等について具体的なアドバイスをを行います。
- 次回の研究発表に活かすか, アドバイスをもとに論文化を目指すかは自由です。

● 論文投稿：RPT誌への投稿を推奨していますが, それ以外の雑誌でも構いません。

英語論文の場合は英文校正費用を東京支部で負担します。

▼ ※英文校正費用の負担は, 研究を「論文の形」にするという難関を超えるための支援として企画しています。

論文の採否に関わらず, 初回投稿を完了すれば授与します。

ただし, 初回投稿の内容は, 査読者に敬意を払い学術論文としてふさわしい内容としてください。